大間原子	一力発電所審査資料
資料番号	OM1-CA139-R02
提出年月日	2021年4月22日

大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (コメント回答 その13) (補足説明資料)

2021年4月

電源開発株式会社

本資料のうち	で示す箇所は,	商業機密あるいは防護上の
観点から公開不可と	しているもので.	白抜きとしてあります。

大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (コメント回答 その13) (補足説明資料)

2021年4月22日 電源開発株式会社

本資料のうち - で示す箇所は, 商業機密あるいは防護上の 観点から公開不可としているもので, 白抜きとしてあります。



○「第615回審査会合」及び「第646回審査会合」での資料の誤りに関わる対応を踏まえ、本資料にて過去の審査会合資料を引用する際の 注記を下記のとおりとする。

・右上の注記

再掲:過去の審査会合資料を,そのまま引用する場合 一部修正:過去の審査会合資料の内容を,一部修正する場合

誤りを修正:過去の審査会合資料の誤りを,正しい記載とする場合

・左下の注記

修正した誤りの内容を記載(誤りの修正がある場合)

指摘事項



本資料では、第804回審査会合(2019年11月29日)の指摘事項について、下表のとおり回答する。

NI.	15 D			掲載	战箇所
INO.	項日	拍摘時期	中国である	本編資料	補足説明資料
S2-134	後期更新世 に生じた変状	第804回審査会合 2019年11月29日	「ps系弱面はシーム沿いに分布する」と記載されているが, ps系弱面はシームそのものを利用して形成され たという事実を踏まえ, 適切な表現にすること。	3-103, 3-104	_
S2-135	後期更新世 に生じた変状	第804回審査会合 2019年11月29日	pd系弱面について,M₁面段丘堆積物との関係を直接確認できないものについても後期更新世に動いたと する根拠,及び変位を伴う不連続面のうち低角のもののみをpd系弱面とする根拠を整理し説明すること。	3-95, 3-96, 3-103, 3-104	6-9
	後期再新冊	第804回来本会会	pd系弱面がシームの層準付近の成層構造が発達する部分に限定的に分布していた低角の変位を伴う不 連続面を利用して形成されたとする理由及び根拠を、以下の内容を含め説明すること。	3−95, 3−96, 3−98 ~ 3−104, 3−154	7−1~7−18, 10−1~10−4
S2-136	に生じた変状	2019年11月29日	・成層構造が発達する部分の認定プロセス及び認定根拠。	3-98~3-102	7-1~7-18
			・成層構造が発達する部分のみに低角の変位を伴う不連続面が多く分布する理由及び根拠。	3−98 ~ 3−102, 3−154	7−1~7−18, 10−1~10−4
			変状は基盤岩が風化した体積膨張を主因としているが, これに対してps系弱面とpd系弱面を議論のベース とする理由を, 以下の内容を含め説明すること。	3−95, 3−96, 3−98 ~ 3−104	7-1~7-18, 10-1~10-4, 11-22
			・ps系弱面により逆断層センスの変位が生じる理由と膨脹との関係。	—	10-1~10-4
S2-137	後期更新世 に生じた変状	第804回審査会合 2019年11月29日	 ・pd系弱面がps系弱面の上盤に少なく、下盤に多い理由。 	3−95, 3−96, 3−98 ~ 3−104	7-1~7-18
			・pd系弱面により生じているせん断構造と, 強風化岩盤の変形構造との関係。	3-95, 3-96, 3-103, 3-104	10-1~10-4
			・強風化岩盤の体積膨張と変状による変形との関係。	—	10-3, 10-4, 11-22
			以下の内容を含めて風化と変状の因果関係を整理・考察し説明すること。	3-148, 3-150, 3-155	4-5, 9-22~9-29, 10-6, 11-1~11-60
S2-138	後期更新世	第804回審査会合	・Ts-5法面やTs-6法面のように, 強風化部とシームの同じ条件があるにも関わらず, 変状の有無に違いが ある理由。	3-148	4−5, 9−26 ~ 9−29
	に生した変状	2019年11月29日	・Ts-1~3トレンチのように、近接した位置にあるにも関わらず風化の程度に差がある理由。		9-22~9-25
			・岩盤が強風化し膨張して変状が生じたという解釈に至った考え方。	3-155	10-6, 11-1 ~ 11-60
S2-139	後期更新世 に生じた変状	第804回審査会合 2019年11月29日	強風化岩盤が膨張したという説明に対しては,直接的な根拠を重視する。膨張による岩盤の体積増加の類 似事例調査等も踏まえ,薄片観察,地質観察等によって強風化岩盤が膨張した痕跡の有無を確認のうえ 改めて説明すること。	3-1-1~3-1-11	11-1~11-60

補足説明資料 目次



ii

1 検討対象シームの選定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-1
2 シームS-10 S-11の変位センス····································	· -1
	-1
4 変状の分布・性状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-1
4.1 変状の分布・性状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-1
4.2 Ts-1トレンチの変状の変位量の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-58
5. 深部のシームS-11とcf-3断層との切断関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-1
5.1 cf-3断層の活動性評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-2
5.2 cf-3断層による深部のシームS-11の切断箇所の性状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-9
6. 変位を伴う不連続面の特徴····································	-1
7. 成層構造及び低角の変位を伴う不連続面の分布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-1
8. 変状弱面等の分布・性状····································	-1
9. 風化部の分布・性状····································	-1
9.1 変状の平面的分布と風化部の厚さとの関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-1
9.2 シームの上下盤の風化性状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-17
9.3 Ts-1~3トレンチの強風化部の厚さの違いの検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-22
9.4 変状の変位量と強風化部・段丘堆積物の厚さとの関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-26
10. 変状の形成メカニズムの検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0-1
10.1 新第三紀におけるシームS-11と低角の変位を伴う不連続面の形成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10	0-1
10.2 第四紀における変状弱面等の形成時期の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0-3
10.3 変状弱面等の変位方向と第四紀の応力場との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0-8
11. 変状の形成要因に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-1
11.1 風化に伴う岩盤の膨張に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-3
11.2 ノンテクトニック断層との類似性に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-38
12. ps-2弱面の分布評価範囲に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-1



1-1

地質断面図におけるシーム分布・シームー覧表,敷地内の全ボーリングでの出現率 〔本編資料3.1.2に関する基礎データ〕

- 南北方向X-X'断面及び東西方向Y-Y'断面におけるシーム分布及びシームー覧表(P.1-2~P.1-6)
- 敷地内の全ボーリングでの検討対象シームの出現率(P.1-7)
- 検討対象シームの代表的なボーリングコア(P.1-8)



1 - 2



1. 検討対象シームの選定(4/8)

シームー覧表(1/3)

第615回審査会合 資料2-2 P.5-11 再掲



		71.27		1.0	i					0		105	1	0		5		1 1		2		206	· · ·	7 7	D	401	DD	205
	地力の確認タ	1.1	四亩(…)	//-9		1-0		- II (同 ナ()	3770年(…)	-o · 同大()	(…)	-105 · [] +()	四日 (11)	-0 ·	N 须庄()	-0 	N 次由(…)	[-] · 唐大()	N 须庄()	□-3 · □= ★()	(四中(…)	-200 · 原子()	377 庄())-/ ・	(27) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (1	+UI (同十()	RR- 须由()	-205 (同大()
	、伏住の斑信石	9-4-1	沫度(m)	: 序で(cm)	;未皮(m)	: 序さ(cm)	沫皮(m)	:序(cm)	;未度(m)	: 序ð(cm)	;床皮(m)	: 厚さ(cm)	床皮(m)	· 序で(cm)	/未度(m)	: 厚さ(cm)	沐皮(m)	: 序ð(cm)	<i>沐</i> 皮(m)	· 厚さ(cm)	;床度(m)	序(Cm)	床皮(m)	: 序で(cm)	;床皮(m)	序で(cm)	沫皮(m)	: 序で(cm)
FID	-3	3-11						.; .		÷			9.30	0.50	0.71	3.50	0.01				-							
F15	-z		-			÷		÷	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	÷		÷					9.91	1.Z		····-				第四糸	·分布 [‡]	或		
F15	-1	0.40	45.39	0.6	-		-	<u>; </u>	-	: -	-		-		-	-	-	: -	-	; -	00.01							:
F14-	-5	S-10	82.93	3.0	61.09	6.4	55.70	1.4	50.35	6.6	50.97	/.0	47.48	0.8	43.03	3.6	39.08	1.6	36.61	3.8	33.31	5.0	29.34	1.0	26.98	1.0		
FT4	-3		83.70	2.00				. <u>.</u>	-	÷		į .	48.11	4.90				į		į		<u>-</u>						<u>-</u>
FT4	-1		-		-	-	-		52.32	0.2	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FT3	-3	S-9					77.13	0.1		÷		<u>.</u>		<u>.</u>				ļ		ļ						-		
FT3	-2	S-8	117.49	1.0				.j	-	<u>.</u>		<u>.</u> –	73.08	0.6	71.19	0.7		<u>.</u>	-	j	59.89	3.2	50.10	1.5	47.57	11.0	42.50	7.2
FT3	-1.9							.;		÷								÷	65.63	0.5		-				-	42.80	0.3
FT3	-1			: -				.:		<u> </u>		: .	-	:		:		<u> </u>	65.66	: 0.4				: -	-	-		: <u>-</u>
易 FT3-	-0.4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81.95	5.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FT2	-4			.				.;		÷		;		;	87.97	0.6		į		; .	72.72	1.20		. <u>.</u>		-		;
E FT2	-3.5		-	<u> </u>	-			<u> </u>	-	<u> </u>					-			<u> </u>	-						-	-	-	
FT2	-3	S-7	128.89	1.4	105.42	5.0	101.05	1.5	97.33	0.8	97.61	0.6	92.67	1.2	88.99	3.4	84.02	2.8	83.24	0.4	73.68	5.4	67.90	0.8	64.51	1.0	54.97	5.6
FT2	-1	S-6	-	<u> </u>	-		102.47	2.0	98.27	0.8	98.64	0.2	-		-		84.88	: 12.0	84.07	2.6	74.79	0.6	69.32	. 0.9	66.18	1.5	56.22	1.0
FT2	-0.5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FT1	-6		-	<u>;</u> –	-	; -	-		-	<u>;</u> –	-	<u>; </u>	99.30	0.7	-	-	90.14	: 1.00	-		-	-	-	<u>;</u> –	-	-	-	-
FT1	-5	S-5	-	<u> </u>	-		-	<u> </u>	-	<u> </u>		<u> </u>	107.20	3.0	-		95.87	0.6	94.43	0.7	-		-		-	-	-	-
FT1-	-4.5		-		-		-		-	<u> </u>	-		107.30	1.1	-	-	-		-		-	-	-		-	-	-	-
FT1-	-3	S-4	-	-	-	-	-	-	110.51	0.5	-	-	-		-	-	-	-	-		89.30	0.4	81.96	1.7	-	-	73.15	13.8
FT1-	-2	S-3	146.49	1.0	124.05	2.2	-		112.33	1.2	-		110.51	0.5	-		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FT1	-1.5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84.32	14.0	-	-	-	-
FT1-	-1	S-2	-	-	-	-	113.90	2.5	-	-	114.89	0.6	111.13	1.4	106.13	1.8	99.68	1.2	98.95	0.8	92.82	0.2	-	-	-	-	-	-
FT1	-0.8		-	-	-	-	-		-		-		-	-	-	-	-		-		-	-	-		-	-	-	-
FT1	-0.7	1	-	-	- 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
FT1	-0.5	1	-	-	- 1	-	- 1		-	-		-	-		-		-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
FT0	-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115.89	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FT0	-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126.35	1.4	-	-	118.54	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
FT0	-1.5	1	-	-	-	-	- 1	-	-		-	-	-		126.43	4.6	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
FT0	-1	S-1	-		-	-	-		133.12	2.4	132.40	2.5	131.54	1.0	127.26	3.0	120.73	2.0	119.05	0.6	116.73	1.2	108.64	1.6	-	-	96.03	8.5
FT0	-0.9		-		-	-	-	- :	-	-	-	- :	-		127.36	2.0	-	-	-		-	-	-	- :	-	-	-	
FT0	-0.3		161.46	1.4	148.32	0.6	-		-		-		-	-	-		124.65	2.2		-	-		-	-	-	-	-	-
FT0	-0.1		161.77	5.6		-	-	-	-	-		-	142.33	1.0	-		-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
FT0	-0.05		-		-	-	-	-	-	÷	-		143.55	1.0	-		-	-							-	-	-	-
AT2	0.6		-	-	-	-			-	-					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
PT-	2_ AT3		-	: -					-	: -					-		-	-			-	-	-	: –			-	-
PT-	2_ AT2		-	-	-	-			-	÷		•••••			-		-	-				-		-			-	-
PT-	2 AT1	+	-	-	-	-		•••••	-	÷ –					-		-	-	-		-						-	
t AT-	21		-				4				4					-	-					-	284.25	0.2			-	-
AT2	1.2	+	341.94	1.0											316.92	0.8	-			-			287.29	3.6			-	
AT2	1.3		342.09	0.9						•••••	•••••		•••••	•••••	317.95	0.6	-	: _		:			-				-	
AT-	215	S-Om	342 43	31				•••••	•••••	•••••		•••••	•••••		318.37	15.4	311.31	7.5	311.48	70			287 79	10.4			280.32	20
AT-	22		-	-				•••••	•••••	•••••		•••••	•••••		0.0.07		-	-	-	-			-	-			-	_
AT-	23		-				•••••	•••••	•••••	•••••	•••••	•••••	•••••	•••••	•••••							•••••						_
	24		-	÷						•••••			•••••	•••••	•••••			÷••••_•••			1	•••••		÷				·····_
AT-	24.1		353.00	0.6					•••••	•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	•••••	•••••	•••••		·····-	·····		•••••	•••••	•••••		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	27.1		333.09	. 0.0														÷										£

注) 深度は出現したシームの中央深度を,厚さはシームの厚さを示す。

X-X'断面沿いシーム分布(1/2)

分布・性状等の検討対象シーム - シームなし

その他のシーム

1. 検討対象シームの選定(5/8)

シームー覧表(2/3)

X-X'断面沿いシーム分布(2/2)

Г		孔名	RR-214	RR-213	R-602	RR-409	A'-7	P-1	RR-218	R-604	P-2	P-3	P-4	P-5	RR-217
⊨	シーム挟在の鍵層名	シーム名	深度(m) 厚さ(cm)	深度(m) 厚さ(cm)	深度(m) · 厚さ(cm)	深度(m) 厚さ(cm)	深度(m) 厚さ(cm)	深度(m) 厚さ(cm)	深度(m) 厚さ(cm)						
	F10-3	5-11													
	FT5-1														
	FT4-5	S-10	15.11 1.6	13.94 1.4											
	FT4-3		- : -												
	FT4-1				6.84 1.0										
	FT3-3	S-9					13.42 0.8					第	四糸・大畑層	「分布域	
	FT3-2	S-8	34.72 1.6	38.32 6.6	21.64 7.5	20.59 1.5	15.76 14.5						1 :	l :	
	F13-1.9				21.91 0.5			14.11 2.0							
易	FT3-04				_ : _										
1	FT2-4				26.36 0.6	26.16 2.0				19.27 0.6					
匤	FT2-3.5				26.43 0.1	26.25 6.0	21.38 5.5			19.36 2.0					
	FT2-3	S-7	44.42 2.0	45.45 1.4	27.40 1.5	27.10 1.8	- : -	19.57 6.0		19.61 2.5					
閴	FT2-1	S-6			28.44 1.0		22.94 0.2			20.41 4.0					
	FT2-0.5		-							20.43 : 0.3					
層	FT1-6			1			34.53 1.0				21.07 0.0				
	FT1-45	5-5									31.39 0.6				
	FT1-3	S-4			44.73 1.0				30.96 4.0						
	FT1-2	S-3				42.97 2.0				31.21 0.8					
	FT1-1.5				- : -	- : -			- : -	- ; -					
	FT1-1	S-2						36.95 2.0		31.75 0.5	35.58 3.2				
	FT1-0.8														
	FT1-0.7														
	FI1-0.5														
	FT0-3					- <u>-</u>	- <u>-</u>			31.84 0.2	44.05 0.1				
	FT0-1.5														
	FT0-1	S-1				64.18 6.0		50.76 1.2			44.21 1.9				
	FT0-0.9				- : -		- : -	- : -	- : -	- : -	- : -				
	FT0-0.3														
	FT0-0.1														
⊨	F10-0.05				- : -		- : -	- : -	- : -	- : -			90.60 10		
	PT-2 AT3						•								
	PT-2_ AT2						·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
Ι.	PT-2_ AT1							断僧による	シーム 狭在						
	AT-21] +	の酸性凝	灭岩欠損部		99.78 13.9		- : -		- ; -
間	AT21.2						1		1		101.14 10.5				
層	AT21.3														
1	AT-21.5	S-Om					分			•					
	ΔT-23						布			•					
1	AT-24			••••••			域			•					
	AT-24.1						1				117.48 8.5		121.56 1.0		
L	AT-24.2						·		- : -		117.56 0.9				
	分布·性状等	の検討対	象シーム	- シームなし	注)深	度は出現したシームの	中央深度を、厚さはシー	ームの厚さを示す。							

その他のシーム

易国間層のシームであるが、投影ボーリングのため断面図(P.1-2参照)で は見掛け上大畑層に重なることから、断面図上は非表示

第615回審査会合

資料2-2 P.5-12 再掲

1. 検討対象シームの選定(6/8)





シームー覧表(3/3)

Y-Y'断面沿いシーム分布

N-1孔X-X' 断面の表で表示

		孔名	S	-401	0	-4	0	5-5	G	-6	N	-4	/ N·	-2	т	-3	F-	10	F	-11	F-	-14	出現率	平均厚さ	榆討対象
	シーム挟在の鍵層名	シーム名		:厚さ(cm)	·····································	。 厚さ(cm)		:厚さ(cm)		。 厚さ(cm)	深度(m)	厚さ(cm)		- 厚さ(cm)		。 厚さ(cm)	深度(m)	厚さ(cm)		:厚さ(cm)		厚さ(cm)	(%)	(cm)	シーム
	FT5-3	S-11		:		:		:							-	-	9,19	0.5	13.59	: 3.3	14.61	0.7	45.5	1.7	S-11
	FT5-2		-		-		-		5.81	0.4	-	-	-	-	-		-		-		-	-	10.5	0.8	
	FT5-1		-		3.92	2.2	-		-		-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	10.8	1.4	
	FT4-5	S-10	38.06	4.6	34.04	4.4	33.05	0.4	34.90	1.2	38.77	2.2	40.15	8.5	42.90	1.4	44.97	1.7	46.84	2.0	43.31	5.2	96.0	3.2	S-10
	FT4-3		-				-	÷			-	-					-		-		-		7.7	3.5	
	FT4-1		-	-	-		-		-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	7.7	0.6	
	FT3-3	S-9	-		-	-	-		-	-	-	-	63.71	6.0	-		-	-	-		-	-	10.3	2.3	S-9
	FT3-2	S-8	48.76	1.0	57.31	4.0	55.92	1.4	55.39	0.1	66.30	2.0	69.09	2.3			77.18	1.2	79.29	1.4	80.75	4.0	72.4	3.5	S-8
	FT3-1.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	0.4	-
	FT3-1		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	10.3	1.3	-
易	FT3-0.4		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	3.4	5.2	-
	FT2-4		-	-	-	-	-	-	-	-	81.27	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	0.9	-
国	FT2-3.5		-		-	-	-		-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	13.3	3.4	- *
	FT2-3	S-7	77.46	1.6	79.95	1.2	77.80	0.2	76.37	1.4	83.12	2.6	87.16	0.1	88.86	1.7	-	-	-		-	-	86.7	2.1	S-7
間	FT2-1	S-6	78.73	2.0	81.55	1.4	79.14	1.3	77.67	2.3	84.22	1.0	88.43	2.4	90.00	2.0	91.33	3.2	89.04	1.7	88.11	3.2	73.3	2.2	S-6
	FT2-0.5		78.77	1.2	-		-		-	-	-	-	88.75	1.0	-		-	-	-	-	-	-	10.5	0.8	-
層	FT1-6		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	0.9	-
	FT1-5	S-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.3	1.6	S-5
	FT1-4.5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	0.9	-
	FT1-3	S-4	-	-	-	-	-			-	95.20	0.3	-	-	-		-	-	-	-	-	-	23.3	3.1	S-4
	FT1-2	S-3	-		-		-			-	97.42	0.1	-	-			103.48	0.4	-			-	26.7	1.0	S−3
	FT1-1.5		-		-		-	<u>;</u> –	-	-	98.41	0.6	-	-	-		-	-	-	<u> </u>	-	-	6.7	7.3	-
	FT1-1	S-2	90.35	1.2	94.92	1.8	91.55	9.6	89.90	0.2	-	-	101.75	0.2	105.67	4.8	104.21	3.4	103.81	1.4	105.76	0.6	63.3	2.0	S-2
	FT1-0.8					<u>.</u>		<u>.</u>			100.50	0.5											3.3	0.5	
	FT1-0.7					;				-	-	-		-			111.49	4.3		. –			3.3	4.3	-
	FT1-0.5		-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	113.49	0.8	-	-	-	-	3.3	0.8	-
	FT0-3					÷		÷		.					····-	į .				÷			3.3	2.0	
	FT0-2		· · · · · · · · · · · · ·					÷							·····								13.3	0.5	
	FT0-1.5		····-		-		-	÷	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-			-	3.3	4.6	-
	F10-1	S-1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		····-		÷	119.94	1.0	121.87	0.8			124.46	4.8							50.0	2.6	S-1
	FT0-0.9			. <u>.</u> .	····-			÷	····		-	-			-			····-	·····	÷				2.0	·····
	FT0-0.1			·•••••_••••	····	÷	····	÷	····		125.97	0.6			128.44	2.4	····			÷				1.4	
	FT0-0.1			· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		<u>.</u>	137.01		····	····					····	<u>.</u>				····	·····_		6.0	5.0	·····
⊢	AT20.6						-	: _			-	-	-	-			-	-		•	-	-	5.3	0.1	-
1	PT-2 AT3				•••••			÷			_	_	_	_							299.65	1.0	5.3		
	PT-2 AT2			• • • • • • • • • • • • • • • •	•••••			÷		•••••		_				• • • • • • • • • • • • • • •				•••••	299 74	10	5.3		
	PT-2 AT1				•••••		-	÷			-	-									301.25	0.3	5.3		
大	AT-21										-	-	-	-			-	-			311.78	5.2	20.0	•••••	
間	AT21.2						-				310.57	0.4	-	-			-				-	-	33.3	•••••	
	AT21.3						-				310.59	0.4	-	-			-	-			-	-	20.0		-
層	AT-21.5	S-Om					298.06	3.0			311.06	6.4	314.54	5.8			320.34	2.4			315.63	13.0	73.3		S-Om
1	AT-22						-		1						••••••				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		322.29	0.2	9.1		-
1	AT-23						306.81	0.20	1												-	-	9.1		-
1	AT-24																				326.01	4.6	11.1		-
1	AT-24.1																					-	33.3		-
	AT-24.2																				-	-	11.1		-

分布・性状等の検討対象シーム - シームなし その他のシーム

注) 深度は出現したシームの中央深度を,厚さはシームの厚さを示す。

* シームを挟在するFT2-3.5はS-7との離間距離小のため検討対象から除外

1. 検討対象シームの選定(7/8)

第615回審査会合 資料2-2 P.5-14 再掲



敷地内の全ボーリングでの出現率



• 敷地内の全ボーリングコアで検討対象シームの出現率を求めた。

• 出現率が最も高いのはシームS-10で約96%を示す。





シームS-10, S-11の条線方向及び複合面構造による変位センス

〔本編資料3.1.3(3)に関する基礎データ及び補足説明〕

- シームS-10, S-11の条線方向及び複合面構造による変位センスの測定方法(P.2-2, 2-3)
- 多重逆解法による応力場の推定結果(P.2-4~P.2-7)

2. シームS-10, S-11の変位センス(2/7)

第615回審査会合 資料2-2 P.5-61 一部修正



POWER

シーム最新面の条線観察手順



本手順に従い、定方位コア試料を用いてシーム最新面における条線観察を実施した。





2. シームS-10, S-11の変位センス(5/7)





多重逆解法解析に用いたシーム最新面の条線データ

シーム	試料名	シーム 方位角 ([°])	シーム 傾斜角 ([°])	条線 方位角 ([°])	条線 伏角 (°)	変位 センス	最適解 に対する ミスフィット角 (°)	①に対する ミスフィット角 (゜)	②に対する ミスフィット角 (゜)	③に対する ミスフィット角 (°)	④に対する ミスフィット角 (°)	シーム	試料名	シーム 方位角 ([°])	シーム 傾斜角 ([°])	条線 方位角 ([°])	条線 伏角 (°)	変位 センス	最適解 に対する ミスフィット角 (°)	①に対する ミスフィット角 (°)	②に対する ミスフィット角 (゜)	③に対する ミスフィット角 (゜)	④に対するミスフィット角(°)
S-10	Ts-1-6	180	10	209	9	逆	10	1	18	21	52	S-10	Ts-11 Nf-3	185	7	185	7	逆	6	10	5	53	95
S-10	Ts-6-7	192	9	152	7	逆	43	47	34	17	130	S-10	Ts-11 Sa-0	185	7	205	7	逆	14	9	25	33	75
S-10	Ts-6-10	192	9	179	9	逆	16	20	7	10	103	S-10	Ts-11 Sa-1	185	7	195	7	逆	4	1	15	43	85
S-10	Ts-6-13(U)	192	9	150	7	逆	45	49	36	19	132	S-10	Ts-11 Sa-2	185	7	180	7	逆	11	15	0	58	100
S-11	Is-6-23	16/	6	160		逆	22	28	10	91	115	S-10	Is-11 Sb-0	185	/	210	/	逆	19	14	30	28	/0
5-11	1s-7-10	90	10	40			55	0	21	152	178	5-10	1s-11 SD-1	185	/	200	/	迅	9) D	20	38	80
S-11	Ts-7-11R	96	10	160	4	左横ずれ	60	115	136	93	68	S-10	Ts-11 Sb-3	185	7	205	7	逆	14	9	25	33	75
S-11	Ts-7-12	96	10	150	6	逆	50	105	126	103	78	S-10	Ts-11-1	185	7	150	6	逆	41	45	30	87	130
S-11	Ts-7-14	96	10	180	1	左横ずれ	80	135	156	73	47	S-10	Ts-11-3	185	7	185	7	逆	6	10	5	53	95
S-11	Ts-7-15	145	5	60	1	右横ずれ	108	109	4	163	146	S-10	Ts-11-4	185	7	225	6	逆	34	29	45	13	56
S-11	Ts-7-16R	145	5	170	5	逆	2	1	113	87	104	S-10	Ts-11-5	185	7	200	7	逆	9	5	20	38	80
S-11	Ts-7-17	145	5	135	5	逆	33	34	79	122	139	S-10	Ts-12-2	98	11	170	4	左横ずれ	77	136	147	80	31
S-11	Ts-7-18	145	5	140	5	逆	28	29	84	117	134	S-10	Ts-12-4	98	11	30	4	右横ずれ	63	3	8	141	170
S-11	Ts-7-19	145	5	208	2	2 左横ずれ	39	39	151	49	66	S-10	Ts-12-5	98	11	30	4	右横ずれ	63	3	8	141	170
S-10	Ts-10-10	170	11	225	6	逆	25	7	31	24	2	S-10	Th-3-2	98	11	40	6	逆	53	7	18	151	160
S-10	Ts-10-13	170	11	185	11	逆	15	32	8	16	38	S-10	Th-3-4	98	11	20	2	右横ずれ	73	13	2	131	180
S-10	Ts-10-14R	170	11	155	11	逆	45	62	38	45	68	S-10	Ts-13-9	245	16	190	9	逆	6	6	7	139	115
S-10	Ts-11 Nc-3	185	7	205	7	逆	14	9	25	33	75	S-10	Ts-13-11	245	16	237	16	逆	40	52	53	175	69
S-10	Ts-11 Ne-3	185	7	190	7	逆	1	6	10	48	90	S-10	Ts-13-12	245	16	317	5	左横ずれ	119	131	132	96	10
S-10	Ts-11 Nf-1	185	7	185	7	逆	6	10	5	53	95	S-11	SB-008	145	5	70	1	右横ずれ	99	99	13	173	156
S-10	Ts-11 Nf-2	185	7	185	7	逆	6	10	5	53	95	S-10	SB-002	110	13	140	11	逆	42	134	119	102	29

| :ミスフィット角20°以上

どの応力場に対してもミスフィット角の大きな条線が存在することから,シーム は中~後期中新世の広域応力場やデイサイト貫入時のローカルな応力場など の複雑な応力場で形成されたものと推定される。



シームの走向・傾斜(1),(2)及び条線のレイク(3)から, 条線の方位角(4)及び伏角(5)を求めた。



2. シームS-10, S-11の変位センス(7/7)





多重逆解法解析に用いたシーム内部の複合面構造データ

試料名	シーム 方位角 ([°])	シーム 傾斜角 ([°])	上盤 変位 方位 ([°]	の 上 の 変 角 伏) (^で	盤の 位の K角 ・	変位 センス	最適解 に対する ミスフィット角 (°)	①に対する ミスフィット角 (゜)	②に対する ミスフィット角 (゜)	③に対する ミスフィット角 (°)	④に対する ミスフィット角 (°)	試料名	シーム 方位角 ([°])	シーム 傾斜角 ([°])	上盤の 変位の 方位角 ([°])	上盤の 変位の 伏角 (°)	変位 センス	最適解 に対する ミスフィット角 ([°])	①に対する ミスフィット角 (°)	②に対する ミスフィット角 (゜)	③に対する ミスフィット角 (゜)	④に対する ミスフィット角 (゜)
	180	10	0 1	150	9	逆	36	69	11	79	30		170	11	90	2	2 右横ずれ	80	125	i 46	6 154	38
	180	10	0 1	165	10	逆	21	54	25	64	15		170	11	105	Ę	5 右横ずれ	65	110	31	139	23
Ts-1-4 ~ 6,	180	10	0 1	180	10	逆	7	39	40	49	0		170	11	120	7	逆	50	95	i 16	6 124	8
10	180	10	0 1	195	10	逆	8	24	55	35	15	Ts−10−7,	170	11	135	ę	逆	35	80	1	109	7
	180	10	0 2	210	9	逆	23	9	70	20	30	10, 11, 13	170	11	150	10	逆	20	65	i 14	94	22
	180	10	0 2	225	7	逆	38	6	85	5	45		170	11	165	11	逆	5	51	29	79	37
	192	9	9 1	120	3 右	5横ずれ	75	99	21	91	107		170	11	180	11	逆	10	36	i 44	64	52
	192	9	9 1	135	5	逆	60	84	6	76	91		170	11	195	10) 逆	24	21	59	50	66
	192	1	9 1	150	7	逆	45	69	9	61	76		185	7	195		/ 逆	14	18	64	15	3
Ts-6-5, 7,	192		9 1	165	8	逆	30	54	24	46	61	Ts-11-4~6,	185	7	210		/ 逆	29	3	78	s 1	12
10, 11, 13	192		9 1	180	9	逆	15	39	39	31	47	7 47733374	185	7	225		9 逆	44	12	93	14	27
	192		9 (190	9	逆	15	24	54	1/	32		185	1	240		+ 世	59	2/	301	29	42
	192		9 2 0 7	210	8	送	15	9	09	10	. 1/		98	11	105	10		9	20		103	10
	192		9 2 6 1	125	5	送	21	67	17	77	10		90	11	120			24	10	20 //	110	10
	167		6 1	150	6	送	6	52	32	62	5	Ts-12-2, 4	90	11	150	-		54	25	5	147	48
Ts-6-23	167		6 1	165	6	 逆	9	37	47	47	20		98	11	165		, 左横ずれ	69	40	7:	162	63
10 0 20	167		6 1	180	6	 逆	24	22	62	33	35		98	11	15		右横ずれ	81	110	76	13	87
	167		6 1	195	5	 逆	39	7	77	18	50		245	16	165		3 右横ずれ	64	64	57	/ 15	98
	96	10	0 1	150	6	逆	51	17	60	139	46		245	16	180		7 右横ずれ	48	49	41	1	83
Ts-7-10∼	96	10	0 1	165	4 左	上横ずれ	66	32	75	154	61	Ts-13-7. 9.	245	16	210	13	3 逆	18	19) 11	31	53
12, 14	96	10	0 1	180	1 左	上横ずれ	81	48	91	169	76	11, 12	245	16	225	15	逆	3	4	. 4	46	38
	96	10	0	15	2 ≉	占横ずれ	84	117	74	5	89		245	16	240	16	逆	11	10) 18	60	24
	145		5	60	1 右	占横ずれ	76	129	46	142	66		245	16	255	16	〕 逆	26	25	i 33	3 75	9
	145	;	5	75	2 ≉	占横ずれ	61	113	31	127	51		145	5	90	3	3 逆	46	99	16	6 112	36
	145		5	90	3	逆	46	98	16	112	36		145	5	105	4	1 逆	31	84	1	97	21
	145		5 1	105	4	逆	31	83	1	97	21	SB-008	145	5	120	5	5 逆	16	69	14	82	6
	145		5 1	120	5	逆	16	68	14	82	6		145	5	135	Ę	逆	1	54	29	67	9
Ts-7-15∼	145		5 1	135	5	逆	1	54	29	67	9		145	5	150	5	逆	14	39	44	52	24
1/	145		5 1	150	5	逆	14	39	44	52	24		110	13	105	13	3 逆	11	15	i 6	124	6
	145		5 1	165	5	逆	29	24	59	37	39	SB-002	110	13	120	13	3 逆	26	0	20	138	20
	145		5	60	1 2	5横ずれ	76	129	46	142	66		110	13	135	12	逆	41	15	35	153	35
	145		5	75	2 ₹	日荷ずれ	61	113	31	127	51							(4)上盤の	変位	10+44	「「影の幸	
	145		5	90	3	逆	46	98	16	112	36		:ミス	フィッ	ト角20	。以	F	の方位	角 シー	-ムの万位角	上盛の変	1400レイク
	145		5	105	4	迚	31	83	1	97	21										/	(2)シームの
」場に落	対し ⁻	ても	ミス	、フィ	ィット	ト角	の大	きな袯	夏合面	構造	が存在	するこ			(3)	シーム <i>0</i> 傾斜角		2	(5)上盤	の変位の伏	A	(1)複合面構 上盤の変
シーム	は中	1~ 1∕	後 其	,中	新	世σ	つ広域	応力	場や	デイサ	イト貫	入時の		5	-40			/				

複合面構造から求めた上盤の変位の方位(1)及びシームの走向・傾斜(2),(3)から, 上盤の変位の方位角(4)及び伏角(5)を求めた。



掘削面の地質スケッチ・写真

[本編資料3.1.4(1)に関する基礎データ]

大間原子力発電所の建設工事に際して, 掘削面で岩盤上面と第四系について地質観察を行い, 変状の有無を確認した。

- ・ 平成12年度及び平成15年度~平成27年度の掘削面地質観察結果(地質スケッチ及び写 真)をそれぞれ示す。
- 掘削面地質観察結果のうち, 岩盤と第四系基底面が現れ, 変状の有無を確認できる掘削 面のデータを示す。

POWER 調査位置図(1/3) 調査位置 範囲A 原子炉建屋設置位置 凡 例 掘削面地質観察範囲 0 敷 地 境 界 第四系が掘削面に現れる位置 \bigcirc シームS-10が第四系基底面, 掘削面等 に現れる位置 シームS-11層準(FT5-3*)が第四系基底面, 掘削面等に現れる位置 dans *:シームS-11を挟在する細粒凝灰岩の鍵層名。 5-11 唐準(FT(5-3) • 範囲Aは,主に平成15年度~平成27年 度の掘削面地質観察結果に基づく範 囲である。 • 範囲Bは, 主に平成12年度の掘削面地 質観察結果に基づく範囲である。 調査位置 範囲B 200m 0

3. 掘削面における地質観察データ(2/50)

3-2

3. 掘削面における地質観察データ(3/50)



*1: 図中30の赤枠部分の範囲は,平成12年度の掘削面地質観察結果である(P.3-30参照)。

^{*2:}シームS-11を挟在する細粒凝灰岩の鍵層名。





3. 掘削面における地質観察データ(5/50)

3-5

3. 掘削面における地質観察データ(6/50)



<u>掘削面観察結果(2/45):地点②</u>





凡例



地点②では,変状は認められない。



<u>掘削面観察結果(3/45):地点③</u>





凡 例

第四日

新第三紀

中 新◀ 世

易国間層 周月

te

lltf

ftf/ctf



~~~ シーム



POWER

10m







3-9

# <u>掘削面観察結果(5/45):地点⑤</u>



# 3. 掘削面における地質観察データ(10/50)



# <u>掘削面観察結果(6/45):地点⑥</u>



3. 掘削面における地質観察データ(11/50)

第四· 紀

新第三紀











3. 掘削面における地質観察データ(13/50)

# 3-13 **V POWER**

# <u>掘削面観察結果(9/45):地点⑨</u>







注)岩盤はすべて風化部。

地点⑨では、変状は認められない。

3. 掘削面における地質観察データ(14/50)



3-14















# <u>掘削面観察結果(14/45):地点(4</u>)



注)岩盤はすべて風化部。

POWER



# <u>掘削面観察結果(15/45):地点(15</u>)



3-19







地点16では、変状は認められない。

3-20 Power

T.P. 12m

T.P. 5m

20m

tb





3-21

#### <u>掘削面観察結果(17/45):地点①</u>



# 3. 掘削面における地質観察データ(22/50)

# 3-22

地点118では、変状は認められない。

# <u>掘削面観察結果(18/45):地点(18)</u>





凡例





# POWER

# <u>掘削面観察結果(19/45):地点(19</u>)









地点19では、変状は認められない。



# <u>掘削面観察結果(20/45):地点@</u>











# 3. 掘削面における地質観察データ(25/50)

# <u>掘削面観察結果(21/45):地点②</u>



0 10m



凡例



#### ──── 地層境界

/¯丶\_\_/ 地質境界

注1)岩盤はすべて風化部。

注2)本法面は法面③に相当(P.4-52参照)。

地点②では、変状は認められない。







\*: 破線内のTs-5法面のスケッチはP.4-6参照。

地点㉒では,変状は認められない。

3-26











の礫の多い部分は河川性堆積物から成る。

\*: 破線内のTs-6法面のスケッチは本編資料P.3-93参照。

地点23では、変状は認められない。



POWER

3-28

#### <u>掘削面観察結果(24/45):地点24</u>



# 3. 掘削面における地質観察データ(29/50)

# <u>掘削面観察結果(25/45):地点②</u>





3. 掘削面における地質観察データ(30/50)

#### 掘削面観察結果(26/45):地点26



3-30

POWER







3. 掘削面における地質観察データ(33/50)

3-33

3. 掘削面における地質観察データ(34/50)

# <u>掘削面観察結果(30/45):地点③</u>





| 地点30では,変状は |
|------------|
| 認められない。    |





# 3. 掘削面における地質観察データ(37/50)



<u>掘削面観察結果(33/45):地点33</u>



# 3. 掘削面における地質観察データ(38/50)





3. 掘削面における地質観察データ(39/50)

3-39

3. 掘削面における地質観察データ(40/50)







3-41









3. 掘削面における地質観察データ(45/50)



# <u>掘削面観察結果(41/45):地点④</u>



3. 掘削面における地質観察データ(46/50)

#### 掘削面観察結果(42/45):地点④



POWER

3. 掘削面における地質観察データ(47/50)



# 3. 掘削面における地質観察データ(48/50)

# 掘削面観察結果(44/45):地点④



# 3. 掘削面における地質観察データ(49/50)

# 掘削面観察結果(45/45):地点④







 掘削面地質観察の結果,敷地内では地表付近においてシームS-10,S-11 付近の一部(地点①,地点④及び地点③の3地点)には変状が認められる が,それ以外では認められない。